



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

Peace For Tomorrow
広げよう 平和の心



2020.4.1- 2021.3.31 ANNUAL REPORT

2020年度 活動レポート

今年もみなさまのご協力で
たくさんの笑顔が生まれました。

ごあいさつ

日頃より、日本ユネスコ協会連盟の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆さまからのお力添えにより実施しました2020年度の活動についてご報告し、心からの感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

2020年度は、世界寺子屋運動を行っているカンボジア、ネパール等の海外の全活動地域にて、新型コロナウイルス感染症対策に関する各種支援を開始しました。また、東日本大震災で被災し、いまなお十分な教育の機会に恵まれない子どもたちへの教育支援を継続するなど、さまざまな活動を実施しました。

本年は、日本がUNESCOに加盟して70周年となります。私たちを取り巻く環境は、70年前と大きく変わりましたが、平和な社会の実現に向けて「人の心の中に平和のとりでを築く」と宣言するUNESCO憲章の理念は変わりません。

2030年を達成目標とする「持続可能な開発目標(SDGs)」においても、「平和なくして持続可能な開発は達成できず、また、持続可能な開発なくして平和は実現できない」と謳われています。

いま、世界における差別や貧困、格差は拡大しています。我々は、問題を根本から解決し未来を切り開く力は、相互理解や互恵の精神を育む「教育」であるとの認識のもと、これからも平和で持続可能な社会の実現に向け、草の根の活動に取り組んでまいります。

今後とも、皆さまからの温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2021年7月
公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟

会長 佐藤 美樹

ビジョン

Peace for Tomorrow
広げよう平和の心

ミッション

「平和な世界の構築」
「持続可能な社会の推進」

もくじ

UNESCO憲章とは	02	■ SDGs達成に向けた次世代教育	
2020年度ハイライト	03	ユネスコスクール SDGsアシストプロジェクト	22
■ 自然災害発生後の教育支援と減災教育		三菱アジア子ども絵日記フェスタ	23
東日本大震災子ども支援		カンボジア オンラインスタディツアー	24
ユネスコ協会就学支援奨学金	05	寺子屋リーフレット制作プロジェクト	24
MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金	07	■ 民間ユネスコ運動の取り組み	
アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム	08	全国に広がる民間ユネスコ運動	25
私たちが10年間で取り組んだこと	09	民間ユネスコ運動の多彩な取り組み	27
■ 世界寺子屋運動	11	■ 維持会員・賛助団体会員／サポーターの声	28
■ 一杯のスプーン	15	■ 企業・団体との連携／寄付方法のご案内	29
■ 未来遺産運動・世界遺産活動		■ 会計報告	30
未来遺産運動	17		
世界遺産活動	19		

UNESCO憲章前文の理念が世界の課題解決の道しるべに

UNESCOは、教育・科学・文化の分野において、国際協力を通じて平和な世界を目指す国連の専門機関です。「教育や科学、文化の振興を通じて、戦争の悲劇を二度と繰り返さない」との理念に基づき、1945年にUNESCO憲章が採択、1946年に創設されました。

—UNESCO憲章前文より(抜粋)—

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

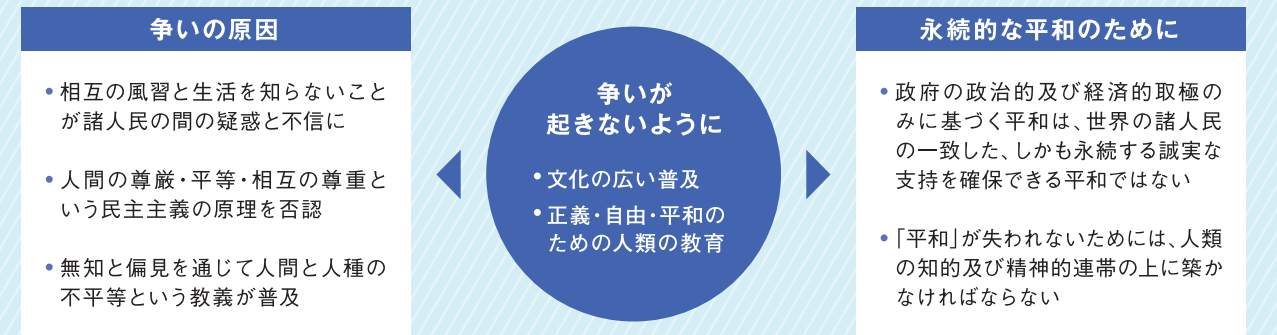
ここに終わりを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代わりに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という教義をひろめることによって可能にされた戦争であった。

文化の広い普及と正義・自由・平和のための人類の教育とは、人間の尊厳に欠くことのできないものであり、且つすべての国民が相互の援助及び相互の関心の精神をもって果さなければならない神聖な義務である。

政府の政治的及び経済的取極のみに基づく平和は、世界の諸人民の、一致した、しかも永続する誠実な支持を確保できる平和ではない。よって平和は、失われなければならないため、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない。

平和構築の鍵は「人間」にある

他者への偏見、不信や疑念が度重なる戦争につながっていった原因であるとし、争いを防ぐためには、文化や教育の普及によって、人種や国家、文化や宗教を超えて互いに認め合う、人間一人ひとりの精神(心)を築くことが鍵であるとしています。

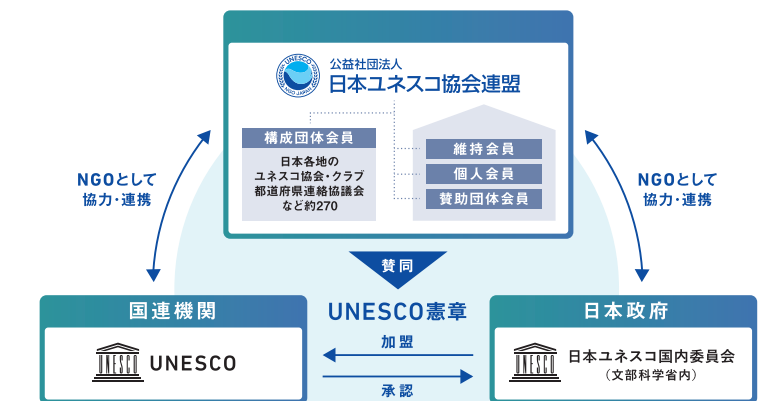


※上記は、当連盟によるUNESCO憲章の解釈です。

UNESCOと日本ユネスコ協会連盟

戦後間もない1947年、UNESCO憲章に共鳴し、平和を願った市民らによるUNESCOへの加盟運動が私たちの始まりです。官民一体となった運動が功を奏し、サンフランシスコ講和条約締結前に、国連機関で初めて日本を「国」として迎え入れたのがUNESCOでした。

仙台から始まった世界初の民間ユネスコ運動は、日本全国へ、世界へと広がり、現在もUNESCOの活動を支えるエネルギーとなっています(詳細はP25)。私たちは、UNESCO憲章の理念に基づき、平和な社会の実現を目指しています。



日本ユネスコ協会連盟 2020年度 活動ハイライト

日本ユネスコ協会連盟が2020年度に国内外で取り組んだ活動のハイライトをご報告します。

TOPICS 01 コロナ緊急支援

P15



2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、日常が大きく変化した1年でした。途上国が受けた影響は大きく、教育支援活動「世界寺子屋運動」の活動地域（アフガニスタン、カンボジア、ネパール、ミャンマー）においても一部クラスの休止を余儀なくされました。私たちは緊急支援として、食糧支援をはじめ、衛生用品の提供や感染予防教育を実施しました。



TOPICS 02 世界遺産カンボジア 修復プロジェクト完了

P19

カンボジアの世界遺産「アンコール」遺跡群の一つ、バイヨン寺院外回廊とその欄干を飾るシンハ（獅子）・ナーガ（蛇）の彫像修復、そして修復技術者を養成する「バイヨン寺院シンハ像・ナーガ像修復プロジェクト」。2012年から実施してきたプロジェクトがついに完了しました。



©NFUAI/JST,JASA

TOPICS 03 首里城復興支援

P21



2019年10月31日に発生した火災で焼失した首里城の復興を支援するために創設した「首里城復興ユネスコ募金」のべ3万8000人から寄せられた募金総額3896万926円を沖縄県および沖縄美ら島財団に贈呈しました。

TOPICS 04 東日本大震災から10年

P09

震災発生直後から被災地の教育・文化復興支援活動に取り組んできました。学校への緊急物資支援、郷土芸能の装束や道具の支援、子どもキャンプの開催、そして現在も継続している奨学金事業。この10年間で実施した活動をまとめました。



日本ユネスコ協会連盟ではゴール4を重点に活動しています

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)。「誰ひとり取り残さない」をスローガンに掲げ、貧困や教育、ジェンダー、環境、気候変動などの世界的な課題に対し、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットが定められました。その前文では、「平和なくして持続可能な開発は達成できず、また、持続可能な開発なくして平和は実現できない」と謳われています。私たちは、SDGsが提唱される以前から、「貧困の連鎖を断ち切り、未来を切り拓く力は、相互理解や互恵の精神を育む『教育』である」との考えのもと、平和で公正な社会の実現に向けて取り組んでいます。ゴール4「質の高い教育をみんなに」を重点に、SDGsの達成に貢献します。





東日本大震災子ども支援
ユネスコ協会就学支援奨学金

大震災から10年 子どもたちの 高校進学を支える

コロナ禍でも 未来へ向けてチャレンジ

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、学校生活が大きく変化しました。臨時休校、卒業式・入学式の短縮、授業のオンライン化に加え、部活動の大会や県外遠征、修学旅行、体育祭などが中止や延期となり、不安の多い高校生活に。そんな中でも、奨学生の皆さんからは、勉強や部活動、将来に向けた資格の取得など、目標達成に向けて有意義な時間を過ごしたという報告を数多くいただきました。奨学金は、子どもたちの学校生活を支える制服や教材、定期代、部活動の費用などに役立てられました。

:: 事業概要

3年間の給付型奨学金を直接ご家庭に地震や津波で住居の流失や損壊の被害を受けた家庭、もしくは原発事故の影響で避難を余儀なくされた家庭の中学3年生を対象に、一人あたり月額2万円の給付型奨学金を3年間にわたって給付する事業。奨学金は日本ユネスコ協会連盟から奨学生のご家庭に直接給付している。(被害の大きい地域を特定して実施)

2020年度事業成果

支援地域	給付人数	奨学金給付額	2011年度からの累計給付人数	2011年度からの累計給付額
岩手県/大槌町、山田町、陸前高田市 宮城県/石巻市、女川町、気仙沼市、 東松島市、南三陸町、山元町、 亘理町 福島県/富岡町	508名	1億2228万円	3468名 岩手・宮城・福島の3県 計25市町村	24億861万円

Thanks from
奨学生



すべてが新鮮で 充実した高校生活

「高校生活1年目は、私にとってすべてのことが新鮮で、とても充実したものとなりました。部活の仲間にも恵まれ、多くの喜びや刺激を感じることができました。学業も自分の進路に向けて努力しています。コロナウイルスの影響が大きくなるいまだからこそ、できることを行っていきたいです。皆さまからの支援に感謝し、今年度も素晴らしい1年となるように何事にも全力で取り組みます。」

卓球部では部長に 任命されました

「高校2年生になり、文系を選択しました。卓球部では部長に任命されました。コロナウイルスで混乱する昨今ですが、負けずに頑張っていきます。」



3年間の給付を終えて

奨学金の給付は中学3年から高校2年までの3年間。給付が終了し、次のステップへと向かう元奨学生と保護者からのお便りを紹介します。



3年間にわたるご支援本当にありがとうございました。無事に高校生活最後の一年を迎え、現在は中級所職員を目指して勉強をしています。震災の際、自分自身の不安もありながらも、市民のために全力で働き、安心できる環境を整えたり、現在も、コロナ禍で様々な対応が必要となり、前例がほとんどないという状況でも全力で業務にあたられている方が自分の目標となりました。

ご支援のおかげで過ごすことができ、この3年間の悔いごとせ、震災を経験しと得たこと、コロナ禍で生活しているうえに得たことを生かし、目標達成のために努力します。たくさん人の役に立つような人間となり、必ず恩返しをしたいと思います。ご支援いただき、本当にありがとうございました。

奨学生より

3年間の御支援、誠にありがとうございました。親子共々、心より感謝している次第です。部活動にも積極的に取り組み、勉強にも励み、充実した高校生活を送っています。これもみなさまのご支援があったからと思ひ、深く深く感謝いたします。やりたかったことを進んで作り、これから人生を前向きに生きていく力になったことはまちがひありません。本当に、ありがとうございました。皆様、からいいただいた支援で、いざ自分も誰かを応援し支えられるような大人になりたいと思うような大人に育ってくれる子供達にな、てくれることと思います。誰かの背中を押すことで、誰か笑顔になり、自分も笑顔になる。優しいバトンタッチが、より多くの子供達の笑顔につながって、欲しいと思ひます。子供達の夢が少しでもみられるような、そんな活動を、これからもうずっと続けていきたいと思います。たくさんの子供達が笑顔になれるように、御支援、ありがとうございました。私達親も、これからの子供達を見守りながら、一緒にがんばって、いこうと思ひます。優しいをうたで、その優しいの輪が広がるように。

保護者より



SDGs
主な対応目標



この春に高校を卒業した奨学生たち

東日本大震災子ども支援
MUFG・ユネスコ協会
東日本大震災復興育英基金

継続的な支援で 子どもたちの 夢を育む

83名の奨学生が 高校を卒業しました

震災当時、小学2年生だった83名の奨学生が2021年3月に高校を卒業し、それぞれの進路に向かって羽ばたきました。勉強や部活、習い事など、一生懸命に取り組んできた奨学生たちと、その保護者から、継続的な支援への感謝の言葉がたくさん届いています。彼らが、東北の新しい担い手として活躍されることを祈ります。

事業概要

2011年3月の東日本大震災発生後、被災地の教育復興にいち早く取り組もうと、三菱UFJフィナンシャル・グループと協働して標記基金を創設。その中心事業としたのが、震災により親を亡くした児童・生徒を対象とした給付型奨学金プログラム。小学校から高校までの在学期間中に月額2万円を給付している。

Thanks from 奨学生

「今年3月1日に高校を無事に卒業し4月から上京、晴れて就職することができました。何事にもめげずに頑張っていきたいと思います。」

Thanks from 保護者

「早いもので震災から10年が過ぎました。恵まれた教育環境の中で孫たちを育てることができ、お陰さまで第一志望の大学に入学することができました。コロナ禍で大変な時期ですが、希望を持って学習に励んでほしいと思っています。」

2020年度事業成果

支援地域	給付人数	奨学金給付額	2011年度からの 累計給付人数	2011年度からの 累計給付額
岩手県、宮城県、福島県	383名	8706万円	1486名	21億 6490万円



特設サイトは
こちら

SDGs
主な対応目標



「へやの中にあぶないポイントをみつけよう」。意見を出し合い、災害から身を守る方法を考えた(神奈川県・新作小学校1年生)

災害が起きたとき、大人の目が 必ずあるとは限らない

助成校は、本プログラムの教員研修を通して、災害を生き抜くために児童・生徒が身に付けるべき力を育成する減災教育の理論と実践を学びました。研修後、神奈川県川崎市立新作小学校では、例年の避難訓練に加えて、災害時に大人の目が必ずあるとは限らないという視点から、児童が自ら命を守る実践を取り入れ、全学年で1年間取り組みました。児童は災害を自分ごととして捉え、積極的に意見交換し、災害時に起こりうる問題を解決する力を身に付けました。

Message from 参加校

「このプログラムでしか得られない研修プログラムや、学校、人、地域とのつながりが大切なものとなりました。」

「減災の学習を通して、児童は地域の問題点に気づき、地域の一員として地域に協力したいという共助の思いを持つことができました。」

主催：日本ユネスコ協会連盟／協力：アクサ生命保険株式会社／後援：文部科学省／プログラムコーディネーター・講師：及川幸彦先生（東京大学）／ファシリテーター・講師：上田和孝先生（新潟大学、SEEDS Asia）／研修協力：認定特定非営利活動法人SEEDS Asia、気仙沼市教育委員会、気仙沼市立階上小学校、気仙沼市立階上中学校、宮城県多賀城高等学校

2020年度事業成果

活動助成	教員研修会参加者	活動報告会参加者	減災教育フォーラム参加者
24校 (14都道府県)	24校 38人	24校 36人	100校・関係団体など 130人
助成活動に参加した 児童・生徒	助成活動に携わった 教員・保護者・地域住民など	2014年度からの 累計助成校	助成校の実践に参加した 児童・生徒・教員・保護者・地域住民などは
24校 4931人	24校 2181人	163校	6万4861人

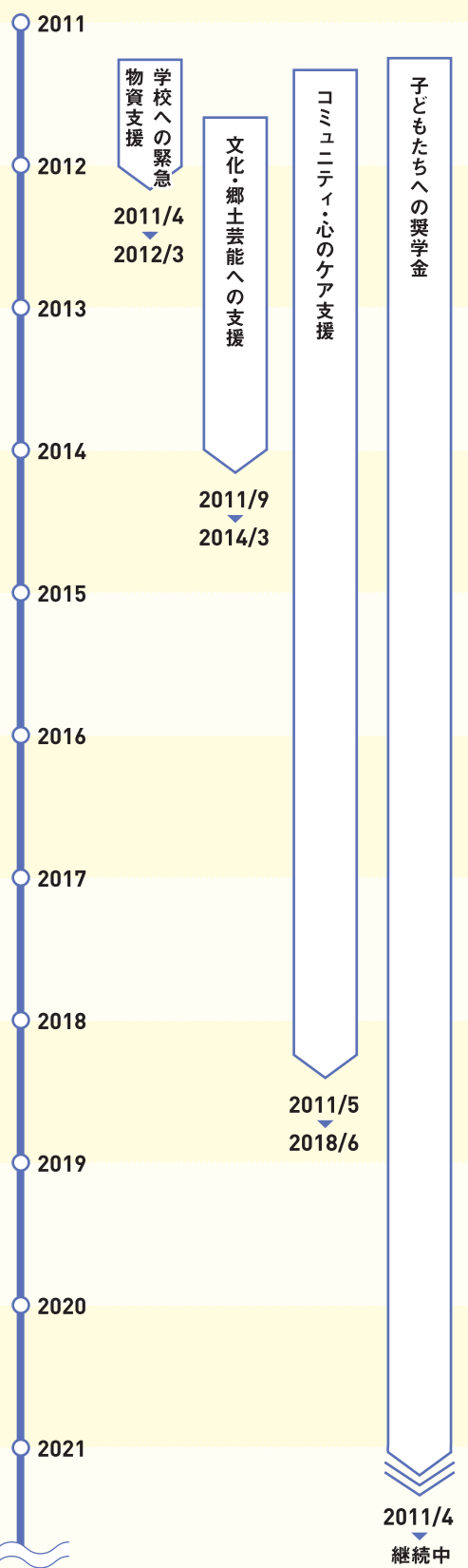


学校の活動事例・
募集要項はこちら

SDGs
主な対応目標



東日本大震災子ども支援の主な活動



東日本大震災から10年

私たちが10年間で取り組んだこと

震災により多くの学校や家庭が被災し、子どもたちの教育環境が危機に陥りました。日本ユネスコ協会連盟では、震災発生直後から「教育」に関する支援活動を開始。文化復興支援、コミュニティ・心のケアにも取り組みました。

学校への緊急物資支援



2011年度

144校

2教育委員会に支援を実施

子どもたちの教育の拠点である学校へ物資を支援することで、学校再開を後押ししました。必要とする学用品は学校により異なるため、1校1校に聞き取りを行い、必要なものを確実に迅速に届けました。



岩手県釜石市に寄贈したスクールバスは現在も活躍中

文化・郷土芸能への支援



2011～2013年度

9団体に支援を実施

東北は郷土芸能が盛んな地域です。被災した岩手県釜石市の「櫻舞太鼓」、「東前太神楽」、「両石・片岸虎舞」、宮城県石巻市の「雄勝法印神楽」や「伊達の黒船太鼓」に対し、芸能に必要な道具、装束などの復興支援を行いました。



宮城県石巻市で600年以上にわたり伝承されてきた「雄勝法印神楽」も支援



2011年に物資を支援した宮城県石巻市立門脇小学校(当時)より「ありがとう」

コミュニティ・心のケア支援



被災地では、仮設住宅で暮らすなど生活環境が大きく変化しました。移動図書館車の寄贈やキャンプなど、地域の子どものための支援を実施しました。

2011年度～2018年度

〔プログラム〕

ユネスコ 子どもキャンプ 54人 子ども絵画 コンテスト 2958人

小中高の補習クラス 「心に笑顔プロジェクト」 1万5811人、他

〔寄贈〕

移動 図書館車 5台 コミュニティ 図書館 1棟 相撲場 3棟、他



自然の中でびのび過ごした子どもキャンプ



移動図書館車は仮設住宅を中心に地域を巡回した

子どもたちへの奨学金



2011年度～継続中

奨学生数 4954人

子どもたちを対象に、ユネスコ協会就学支援奨学金(P5～6)、MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金(P7)の2つの奨学金事業を実施しています。

奨学生を取り巻く環境の変化

ユネスコ協会就学支援奨学金の奨学生から届いたお手紙などの一部を、年代順にご紹介します。

2011年度

悲しみと不安を抱えながら

震災直後、先の見えない不安な暮らしの中で、子どもたちの学びの継続に奨学金が役立てられました。

2015年度

復興が進む一方で、続く仮設住宅での暮らし

震災から4年が経ち、道路や防潮堤など町の工事が徐々に進み中、仮設住宅で避難生活を続ける家庭はまだ多くありました。

2020年度

小学校入学時に震災、高校入学時はコロナ

学生生活の節目に2度もつらいできごとが重なった現奨学生。そんな中でも、前向きに勉学や部活に励む声が届きました。

奨学金の話ができてきたときは本当にありがたく思いました。あの日から母親への負担も多くなり、辛そうに見えたので、本当に今回のこの支援には感謝しています。これからも負けずに勉強に部活、将来の夢を叶えるために頑張りたいと思いますので、応援よろしくお願ひします。

避難生活も今年で5年目を迎えました。東日本大震災当時、私は小学4年生でした。運動着とよばきで避難先を転々としたことが昨日のことのようです。今でも信じられません。そして、その日から、今日まで、たくさんの人々にお世話になりました。そのおかげで、落ちついた生活ができていくことに感謝しています。私は今、高校受験に向けて勉強に励んでいます。今回、このような奨学金を支援していただき、本当にありがとうございました。この奨学金で自分が志望する高校に進学して「教師になる」という夢に向かって頑張りたいと思います。

私は、2学期の行事の中でも、体育祭の思い出が強く残っています。新型コロナウイルスによって大きく開催されて、高校初めての体育祭だったので不安でしたが、とても楽しく運動できる機会でした。

〔部活動(美術部)〕

部活動では、高学年に向けて絵の練習を頑張りたいと思っています。夢を叶えたい方々のおかげで私の学校生活は、充実しています。本当にありがとうございました。



詳しい支援内容は
こちら

SDGs
主な対応目標





コロナ対策で座席の間隔をあけて学ぶ(カンボジア)

世界寺子屋運動

すべての人が
教育を受けられるように

約134万人に学びの機会を提供

1990年の国連「国際識字年」に先駆けて、1989年に始まったのがユネスコ世界寺子屋運動です。国連の教育目標であるEFA (Education For All=すべての人に教育を) やSDGsの達成に寄与するため、世界の非識字人口の6割近くを占めるアジア地域(現在の支援国はアフガニスタン、カンボジア、ネパール、ミャンマー)で、とくに成人や中途退学した子どもなど教育の機会を得にくい人びとに教育支援を行っています。下表を見ると識字率こそ高い国もありますが、非識字者は各国で数百万人に上り、識字率も農村の女性(25歳以上)などに限るとかなり低くなります。世界寺子屋運動では、識字教育や職業訓練、研修活動を通じて教育の普及と地域の発展を目指しています。

これまでの31年間に44ヵ国1地域で活動し、約134万人の人びとに学びの機会を届けることができました。

■ 現在活動している4ヵ国の教育データ / () は女性

	成人識字率	成人非識字者 (15歳以上)	識字以外の問題
アフガニスタン	43.0% (29.8%)	1205万3875人 (720万5193人)	・国内避難民への教育 ・女性の就労機会が少ない
カンボジア	80.5% (75.0%)	206万7118人 (138万3856人)	・高い中途退学率
ネパール	67.9% (59.7%)	627万5174人 (446万819人)	・農村女性の低い識字率 ・農村部での未就学
ミャンマー	75.6% (71.6%)	936万335人 (570万7409人)	・中学校レベルでの中途退学

出典: UNESCO Institute for Statistics

2021年の世界の現状

文字の読み書きのできない成人

約7億7300万人

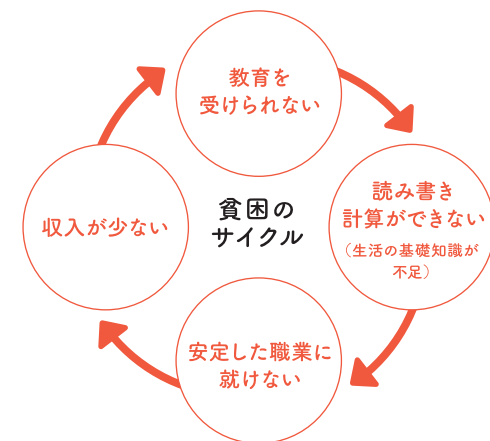
学校に行けない子ども(6~14歳)

約1億2100万人

出典: UNESCO Institute for Statistics

貧困のサイクルを断ち切るために

世界寺子屋運動を展開しているような開発途上国では、貧困による負の連鎖(下図参照)が問題になっています。そのため世界寺子屋運動では、大人が教育を受けることで子どもたちへの教育の重要性を認識してもらうとともに、学校に通っていない子どもたちをクラス(寺子屋)を開校することで、負の連鎖を断ち切り地域の発展を目指しています。



コロナ対策を講じながら
クラスを再開

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、識字クラスをはじめ多くの事業が数ヵ月間の中断を余儀なくされました。しかし、現地での感染状況が落ち着いた後には、各国政府のガイドラインに沿った感染防止策を講じながら識字クラスや復学支援クラスを再開しました。また、アフガニスタンとカンボジアでは、現地政府や地域の人びとの協力によって新たな寺子屋が完成しました。なお、ミャンマーでは2021年2月に発生したクーデターの影響により、同年3月から一時的に活動を休止しています。(2021年5月現在)



新型コロナウイルス感染対策のため野外で識字クラスを実施(ネパール)

Thanks from
学習者

カンボジアの復学支援クラスに通うシナさん(14歳)

「3年前、家事や農作業の手伝いと弟妹の世話のため、学校をやめました。寺子屋の先生が勉強を続けるようにしてくれたときはうれしかったです。私も将来、先生になりたいです。」



寺子屋で行っている主な活動

クラス	活動内容	2020年度の 学習者数
識字クラス A.C.N.	子どものころ学校に行けなかった大人を対象に、それぞれの国の公用語の読み書き・計算のクラスを実施している。	A: 515人(448人) C: 409人(362人) N: 2999人(2999人) 合計=3923人 (卒業生=3844人)
中途退学児童生徒向けのクラス C.M.	中途退学した生徒を対象に、小学校相当クラスの提供、中学校への進学支援、衛生教育などを行っている。	C: 350人 M: 480人 合計=830人
職業訓練クラス A.C.	裁縫・刺繍、農業や畜産の技術研修と、米の貸付や小口融資を通じて、地域の人びとの収入向上を目指している。	A: 308人 C: 393人 合計=701人
幼稚園クラス C.	高い小学校の退学率や留年率を改善するため、就学前の児童が簡単な読み書きや集団生活を学んでいる。	C: 182人 合計=182人
教員・運営委員研修 A.C.M.	識字教員や復学支援クラスの教員、寺子屋を運営する運営委員への研修を行っている。	A: 38人 C: 345人 M: 52人 合計=435人
2020年度に寺子屋で学んだ人		合計=6071人 (卒業生=5957人)

A...アフガニスタン C...カンボジア
N...ネパール M...ミャンマー

SDGs
主な対応目標



 **カンボジア**

**コロナ禍で増す
寺子屋の役割**

学校外の学びの場・社会経済活動の場としての寺子屋は、コロナ禍のもとで、これまで以上に重要な役割を果たしました。学校の休校期間は約29週におよび、観光業の盛んなシェムリアップでは経済的打撃も甚大でした。しかし、寺子屋が機能することで、子どもたちは学びを取り戻し、家計が苦しくなった人びとも生活を維持することができました。感染拡大期には、隔離中の人々が滞在する施設としても役立てられました。

2020年度事業成果

識字クラス	復学支援クラス	進学支援	幼稚園クラス	小口融資
409人	214人	136人	182人	160世帯
米貸付	養牛	研修	寺子屋建設	
220世帯	13世帯	345人	1軒	



19軒目となるスヌオル寺子屋が完成。開所式の代わりに関係者のみで「引き渡し式」を行った

:: 事業概要

2006年にシェムリアップ州で開始。寺子屋を拠点とした基礎教育や収入向上活動を通じ、農村地域の教育環境の改善と貧困削減を目指す。プロジェクト終了後も寺子屋が活用されるよう、運営は研修を受けた住民が担う仕組みで、その人材育成も行っている。



感染防止策として、屋外でクラスを実施した

 **ネパール**

**12の地域で
成人女性が学んだ**

2020年度は、ネパール南部のルンビニで、成人女性のための中級識字クラス(4ヵ月間)を実施しました。12地域で150クラスが行われ、2999人が無事に卒業。基礎的なネパール語や公衆衛生などの知識を身につけました。クラスは新型コロナの感染拡大により約5ヵ月の中断をはさみましたが、再開後はクラスを少人数制とし、学習者のマスク着用や消毒液の設置など感染防止策を講じました。

:: 事業概要

2002年から南部のルンビニ地域の2郡で開始。カトマンズ地域にも事業地を拡大し、非識字者の多い地域での識字クラス、小学校クラスとともに、政府にとって「モデル」となる寺子屋の建物や運営の仕組みを構築。また、2015年のネパール中部地震発生後には、緊急支援や被災した寺子屋の再建を行った。

2020年度事業成果

識字クラス
150クラス 2999人 (※2019年度から継続)

 **アフガニスタン**

**限られた土地活用で
初の2階建て寺子屋が完成**

アフガニスタンで17軒目となるバグラミ寺子屋が完成しました。土地が限られていたため、私たちのアフガニスタンの寺子屋としては初の2階建てです。2020年10月には開所式典が行われ、政府関係者や地域の人びとなどが参加しました。完成後の寺子屋では、地域の人びとによる識字クラスや補習クラス(算数や英語)が始まっています。また、政府の地方事務所としての機能も担っています。



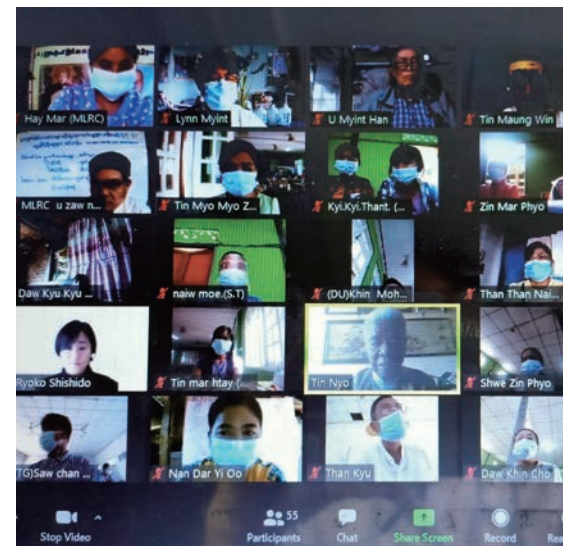
アフガニスタン政府と地域住民代表者、日本ユネスコ協会連盟の三者契約で建設されたバグラミ寺子屋

2020年度事業成果

識字クラス	職業訓練クラス
515人 / 448人が卒業(※2019年度から継続)	308人 (※2019年度から継続)
寺子屋運営委員研修	寺子屋建設
38人	1軒

:: 事業概要

2002年にアフガニスタンのカブール県で、教育省識字局と協働で開始。その後、パルワン県やバーミヤン県に活動地域を広げ、成人女性の識字クラス、職業訓練、寺子屋の設立を通じた女性の識字率向上や収入向上を目指して活動している。



初めて行われたオンラインでの教員研修会

 **ミャンマー**

**ネット環境の課題を克服して
オンライン教員研修会を実施**

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、初のオンラインによる教員研修会を行いました。農村部のため、ネット環境や機材不足が課題でしたが、1台のスマホを2人で視聴するなど、現場の工夫と協力で実現しました。一部地域のロックダウンや長期間の休校(すべての教育施設の閉鎖措置)による中断がありましたが、2020年度内にEXCEL(事業概要参照)の第1学期の授業を終えることができました。

:: 事業概要

2017年よりミャンマー識字リソースセンター(MLRC)と連携して、中途退学児童生徒のための継続教育プロジェクト(EXCEL)を実施。中部バゴー地域で小学校ないし中学校を退学して働く10~17歳の子どもたちを対象に、識字・読解力促進、算数、ライフスキル教育を提供する。

2020年度事業成果

学習者	教員研修
480人	52人

SDGs
主な対応目標





創作組踊「糸蒲の縁(いとかまのえん)」で
地域の子も達を育み新たな文化を繋ぐ(沖縄県中頭郡中城村)

100年後の子もたちへ、地域の有形・無形の文化や自然を伝えていくことを目的に実施しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現地調査が困難なため「プロジェクト未来遺産」の新規登録は中止となりました。2021年度に向けて、コロナの影響について調査を行い、73プロジェクトとの連携強化を図りました。

未来遺産運動

地域の遺産を
100年後の
子どもたちに

北海道

- 野生サケのふるさと ウヨロ川保全調査・普及プロジェクト(北海道白老郡白老町)
- ★未来人(みらいびと)への贈り物★宗谷防人物語(そうやさきもりものがたり)(北海道稚内市)
- 知床のヒグマなど、人間と野生動物とが共生していく大切さを全国に届けよう。(北海道斜里郡斜里町)
- 絶滅危惧種イトウ(サケ科)北海道尻別川個体群の復元活動(北海道虻田郡ニセコ町)
- 昭和新山ジオツアー 減災文化継承プログラム(北海道有珠郡壮瞥町)

昭和新山ジオツアー
減災文化継承プログラム

東北

- 久保川イーハトーブ世界自然再生事業(岩手県一関市)
- 稲生川(いなおいがわ)開削と三本木原(さんぼんぎはら)開拓の志を活かし、共創郷土の伝統を未来に(青森県十和田市)
- 「月浜のえんずのわり」を未来につなげよう(宮城県東松島市)
- 新津丘陵の自然・森林・歴史遺産の保全・整備プロジェクト(新潟県新潟市)
- 町屋再生プロジェクト 市民基金設立による町屋の外観再生事業(新潟県村上市)
- おらほのながめづくり - 『遠野物語』の文化的景観を守る - (岩手県遠野市)
- 気仙沼港と風待ちの風景～歴史的建造物の復興プロジェクト～(宮城県気仙沼市)
- 古町花街における伝統文化と歴史的景観の保全・継承活動(新潟県新潟市)
- 秋田の聖農・石川理紀之助の教えの継承と「草木谷」の環境保全活動(秋田県湯上市)

おらほのながめづくり-
『遠野物語』の
文化的景観を守る

関東

- 神楽坂をますます料～「粋益(いきまし)」プロジェクト(東京都新宿区)
- 水と林と田んぼのハーモニー 里山がくれた生き物と歴史の玉手箱 宍塚の自然と文化を次世代に(茨城県つくば市)
- 「谷中のたから」体験・発見・交流プロジェクト 江戸～東京のまちと自然、建物、生活文化の保全活用・体験事業～(東京都台東区)
- 渡良瀬川源流の森再生プロジェクト-足尾銅山の荒廃地に植樹-(栃木県日光市)
- 水戸の歴史資産「偕楽園と弘道館」の魅力子どもたちに伝える活動(茨城県水戸市)
- 佐野天明(命) 鋳物のすぐれた伝統文化を未来につなぐ活動(栃木県佐野市)
- 世界で一つだけの「元荒川サシミヨ生息地」保護活動(埼玉県熊谷市)
- 首都圏の大規模緑地・見沼たんぼを100年後の子も達に残す(埼玉県さいたま市)
- 「雑司が谷がやがや」プロジェクト～歴史と文化のまちづくり(東京都豊島区)
- 玉川上水・分水網の保全活用プロジェクト(東京都立川市)

首都圏の大規模緑地・
見沼たんぼを
100年後の
子ども達に残す

中部東

- 木曾丸ごと夢作り活動(長野県木曾地域)
- 生態系豊かな森の再生と豊かな森が持つ可能性の追求(長野県上水内郡信濃町)
- ドブ川化した川を市民力を結集して蛍が乱舞する清流に再生・復活(静岡県三島市)
- 火の見櫓からまちづくり～地域を見守る安全遺産を未来へつなぐ～(静岡県沼津市)

ドブ川化した川を
市民力を結集して
蛍が乱舞する清流に
再生・復活



中部西

- いきもの不思議の国・中池見湿地(福井県敦賀市)
- 赤瓦と煙出しの里 加賀ひがしたにの未来プロジェクト(石川県加賀市)
- 現代の癒し「布橋灌頂会(ぬのばしかんじょうえ)」を永遠に語り継ぐために!(富山県中新川郡立山町)
- 伝統行事を支えていく未来の担い手育成事業(三重県名張市)
- 越前にコウノトリ呼び戻す田んぼファンクラブ(福井県越前市)
- みんなの手で守り、未来に伝える!日本の原風景『丸山千枚田』(三重県熊野市)
- 愛知万博の理念と成果の継承～海上(かいしよ)の森・保全活用プロジェクト～(愛知県瀬戸市)
- 福野夜高祭～「災厄からの復興の心」を引き継ぐプロジェクト～(富山県南砺市)
- 美濃流し仁輪加～地方に華咲く言葉の文化～(岐阜県美濃市)

赤瓦と煙出しの里
加賀ひがしたにの未来プロジェクト

近畿

- 葵プロジェクト(京都府京都市)
- ならまちわらべうたフェスタ(奈良県奈良市)
- 孟子不動谷生物多様性活性化プロジェクト(和歌山県海南市)
- 天神崎(てんじんざき)の自然の維持と環境教育の推進(和歌山県田辺市)
- ニッポンバラタナゴを守る伝統的な溜池浄化法「ドビ流し」の継承(大阪府八尾市)
- いやしの里深野を目指して。希少になったササユリ保護・増殖活動(奈良県宇陀市)
- 銀の馬車道プロジェクト～日本初の高産産業道路を未来につなぐ～(兵庫県姫路市)
- 湖国の原風景権座(ごんざ)水郷を守り育てる活動(日本の里百選)選定地域(滋賀県近江八幡市)
- 京都桂川の生物多様性保全-カヤネズミのすむ茅原を未来へつなぐ(京都府京都市)

湖国の原風景
権座(ごんざ)水郷を
守り育てる活動
(日本の里百選)選定地域

中国

- 日本の記憶が息づく島 OKI を守り伝えるプロジェクト(島根県隠岐郡隠岐の島町)
- このままの鞆(とも)がいい!住民の手による歴史的港湾都市「鞆の浦」の歴史・文化・自然の継承と再生(広島県福山市)
- 未来につなごう!尾道・坂の町再生プロジェクト(広島県尾道市)
- 笑い講とお笑い講で世界中に笑いを広める運動(山口県防府市)
- 英田(あいだ)上山棚田再生プロジェクト～未来へつなぐ棚田8300枚～(岡山県美作市)
- まちにあかりを灯すプロジェクト(岡山県倉敷市)
- 榎野川(ふしのがわ)もり・かわ・うみを再生し人と人をつなぐプロジェクト(山口県山口市)
- 萩のおたからにみんなで親しみ、みんなに広めるプロジェクト(山口県萩市)
- 被爆樹木が世界に伝える未来へのメッセージ「平和・希望・共生」(広島県広島市)
- 山口鷲流狂言伝承者育成プロジェクト～子ども達に残す鷲流狂言～(山口県山口市)

まちにあかりを灯す
プロジェクト

四国

- みんながかぶこう!! プロジェクト～農民歌舞伎祇園座(香川県高松市)
- 世界に伝えたい!! 阿波人形浄瑠璃の魅力未来遺産プロジェクト(徳島県徳島市)
- 次世代につなごう!! 「千年サンゴ」保全プロジェクト(徳島県海部郡牟岐町)
- 美の里を未来へ 石畳地区・村並み保存活動(愛媛県喜多郡内子町)
- 未来へつなぐ子ども達の健康と健やかな成長を～田井の子供神相撲～(香川県高松市)

世界に伝えたい!!
阿波人形浄瑠璃の魅力
未来遺産プロジェクト

九州・沖縄

- 八女(やめ)福島 空き町家と伝統工法の再生による町並み文化の継承(福岡県八女市)
- 現代版組踊「肝高の阿麻和利」と「キムタカのまちづくり」(沖縄県うるま市)
- 阿蘇千年の草原を未来へ引き継ごう(熊本県阿蘇市)
- 未来に遺す「生きた鉄道博物館」～100年レイル肥薩線への情熱～(熊本県人吉市)
- 千年の時を刻む荘園村落遺跡「田染荘(たしぶのしょう)小崎」(大分県豊後高田市)
- 生きもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟保全活動(大分県中津市)
- 鬼と炎が舞う長岩屋修正鬼会(ながいわやしゅじょうおにえ)(大分県豊後高田市)
- 博多湾・和白(わじろ)干潟の自然保護活動(福岡県福岡市)
- 肥前浜宿の歴史的まちなみの保存と醸造文化の継承(佐賀県鹿島市)
- 子供と命をつなぐジッキョヌホーのトウギョの里プロジェクト(鹿児島県大島郡知名町)
- 「くも合戦」保存プロジェクト(鹿児島県始良市)
- 創作組踊「糸蒲の縁(いとかまのえん)」で地域の子も達を育み新たな文化を繋ぐ(沖縄県中頭郡中城村)

肥前浜宿の歴史的
まちなみの保存と
醸造文化の継承

:: 事業概要

地域で文化や自然の保護・継承活動に取り組む市民団体の活動を、「プロジェクト未来遺産」として登録し応援。全国から公募し、書類選考、現地調査を経て、専門家や企業人で構成される未来遺産委員会で審査の上、決定している。2009年の開始から、これまでに73の市民活動を登録。



世界遺産「アンコール」遺跡群のアンコール・ワット

世界遺産活動

人類のたからものを
未来へつなぐ

危機に瀕する
世界遺産を救う

世界遺産は、1972年に採択された世界遺産条約に基づいて行われているUNESCOの事業で、人類にとって貴重な文化や自然を、国際協力を通じて次世代に継承していくことを目的としています。

UNESCOは、1960年代に世界遺産誕生のきっかけとなったヌビア遺跡(エジプト)や、ボロブドゥル寺院遺跡群(インドネシア)の救済キャンペーンを実施。その際、当連盟は、国内の民間の募金窓口として指名され、全国に寄付を呼びかけ、遺跡の保護に長年協力してきました。その後、とくに危機的な状況にある途上国の世界遺産を対象に、ネパール、アフガニスタン、フィリピン、カンボジア、ベトナムなどで、遺跡の修復、人材育成、普及啓発、教育などを通じた支援プロジェクトを実施してきました。



アフガニスタンの世界遺産「バミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群」。タリバンによる爆破を阻止する署名キャンペーンを実施した

事業概要

「アンコール教育教材開発プロジェクト」：2008年から、アンコール遺跡をモチーフに、子どもたちが親しみやすい塗り絵教材を制作。
「バイヨン寺院シンハ像・ナーガ像彫像修復プロジェクト」：2012年から、同寺院の外回廊に位置する彫像修復と若手の人材育成を実施。日本国政府アンコール遺跡救済チーム(JASA)の技術協力を得て、アンコール人材養成支援機構(JST)との共同事業。



ご寄付いただいた方々のお名前は現地の銘板に刻まれた

8年超を経て
バイヨン寺院・外回廊の彫像修復が完了

2020年8月、バイヨン寺院の外回廊に位置するナーガ(蛇)・シンハ(獅子)像の修復作業が完了しました。アンコール遺跡の一つ、バイヨン寺院は、地盤の緩みや寺院の基礎部分の沈下によって、彫像・欄干を支えていた床石が割れ、多くの部材が散乱していました。それらのオリジナルの位置を探し、倒壊の危険のある箇所解体・再設置作業を進めた結果、景観が整い、安全面も向上しました。同時に、持続的に遺跡の保全・継承をカンボジアの人たちの手で行うことを目指し、9人の青年を技能員として育成しました。事業終了後、彼らはJASAの修復現場で活躍しています。



プロジェクト修了式で「修了証」を手にするカンボジア人の技能員たち ©NFUAJ/JST,JASA

Thanks from
現地スタッフ

カンボジア人技能員
ノウ・ソビアックさん



「8年前、このプロジェクトに参加できたことは本当に幸運でした。関係者の皆さまに、アンコール遺跡とともに生きる機会を与えていただいたことに心から感謝します。今後もこの仕事を続け、次は私が、若い世代に知識と技術を引き継ぐ専門家になれるよう努力を続けます。」

本物に触れる世界遺産訪問学習



アンコール遺跡の修復現場で塗り絵をする子どもたち

世界遺産学習支援として、主に寺子屋で学ぶ子どもたちが、自国の歴史と文化に親しみ、理解を深めることを目的に実施しています。まず塗り絵教材によって世界遺産や伝統的な暮らしを学んだ後、実際の伝統的家屋や遺跡修復現場への訪問学習を行います。体験学習の機会がまだ少ないカンボジアでは、子どもだけでなく先生が知識や技術を身につける機会にもなっています。

2020年度事業成果

修復部材数

ナーガ像 **73**体 / シンハ像 **23**体 / 欄干等 **721**部材(※2012~の全プロジェクト期間)

塗り絵学習者数

子ども **104**人 / 教員等 **12**人





首里城は、「首里城跡」として、世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の構成資産の一つとして登録されている

首里城復興ユネスコ募金

全国約3万8000人の 首里城復興への想いを 沖縄に

沖縄県と沖縄美ら島財団に 「首里城復興ユネスコ募金」を 全額贈呈

標記募金には、のべ3万8000人から計3896万926円(2020年10月23日時点)が寄せられました。2020年10月30日、沖縄県および一般財団法人沖縄美ら島財団の2ヵ所で贈呈式を実施し、全額を贈呈しました(沖縄県へ3000万円、沖縄美ら島財団へ896万926円)。



沖縄県への贈呈式。写真左から、沖縄県協・久保田照子副会長、日ユ協連・鈴木祐司理事長、沖縄県・玉城デニー知事、沖縄でいご協・末吉重人会長

玉城デニー沖縄県知事からのメッセージ (2020年10月30日 贈呈式にて)

「首里城が焼失して1年になり、心のどこかに喪失感もあります。次の世代のため復興する首里城は、あわせて琉球の文化も一緒にもう一度掘り起こし、未来世代へと受け継いでいきます。皆さまに首里城を見て喜んでいただき、感動していただける日を楽しみにしながら、皆さまの真摯な思いが込められたご寄付を復興に使いたいと思います。」

正殿の再建は2026年の完成を予定



焼失前の写真(本ページ上)とほぼ同じ位置から正殿方面(2020年10月撮影)。火災では、正殿が全焼するなど8棟が焼失。正殿の地下遺構(世界遺産)は幸いにも焼失を免れた

当連盟からの募金を含め、沖縄県に集まった「沖縄県首里城復興基金」は、正殿の木材や赤瓦の調達、大龍柱、唐破風妻飾、龍頭棟飾などの屋外彫刻、扁額などの室内装飾などの復元に関する事業に活用されます。また、沖縄美ら島財団への募金は、収蔵品の修繕に役立てられます。損傷調査を終えた収蔵品から順に修繕作業を始めています。

事業概要

2019年10月31日に発生した火災で焼失した首里城の復興を支援するため、当連盟では「首里城復興ユネスコ募金」を創設。募金全額を復興事業に携わる沖縄県および沖縄美ら島財団に寄付した。(募金の受付は焼失から1年後の2020年10月末に終了)

SDGs
主な対応目標



サケの稚魚放流を体験(宮城県気仙沼市立唐桑小学校)

ユネスコスクール
SDGsアシストプロジェクト

地域遺産から国際理解まで 学校での幅広い学びを応援

2020年度は79校への助成が決定しました。コロナ禍で助成活動は大きく制限されましたが、オンライン交流をはじめとして、新たな取り組みが数多く実践されました。(協力:株式会社三菱UFJ銀行)

活動事例

福岡県大牟田市立みなと小学校

『有明海とともに生きる～海洋教育四校合同プロジェクト～』

※対象:小3～6年(165人)、地域住民・保護者(12人)

生物多様性、環境保護、海と人との関わり、海との共生をテーマに、市内4校がオンラインで合同学習を実施。海洋に関する問題を共有し、問題解決に向けて調査・行動しながら、学習発表やポスターづくりなどを通して、全体での学びを各地域へ発信しました。

【助成金の使途】モバイルルーター



3年生の4校合同授業のようす

東京都多摩市立青陵中学校

『青陵中地域いきいき活性化プロジェクト』

※対象:中1～3年(325人)、地域住民・保護者(10人)

SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」を3年間の主テーマとして、課題解決型の活動を実施。第1学年では、商店街活性化のため、各商店の特色を取材し、PRビデオやポスターを制作、活用することで地域の魅力を広報しました。

【助成金の使途】全方位デジタルカメラ、商店街活性化道具、謝金など



2つの商店街をつなぐ歩道橋の欄干に、それぞれのPRポスターを飾り付ける

2020年度事業成果

活動校

65校(うち19校はコロナ禍により次年度に活動を実施予定)

参加した児童生徒

8222名

2009年度からの累計助成校

のべ1054校

事業概要

2009年度より全国のユネスコスクール*を対象に、SDGsへの取り組みを支援している。持続可能な開発のための教育=ESDに必要な教材費や行事運営費など上限10万円。2019年度からは上限30万円枠も。学校の活動分野は環境、国際理解、地域遺産や減災教育など多岐にわたる。

協力:株式会社三菱UFJ銀行 後援:日本ユネスコ国内委員会
*ユネスコスクール:UNESCOの理念を実践するため、平和や国際的な連携を实践する学校。ESDの推進拠点として位置づけられている。



助成校の活動事例・
募集要項などはこちら

SDGs17のゴールすべてが
対応目標です





ネパールで行われた国内表彰式の様子

三菱アジア子ども絵日記フェスタ

絵日記で伝え合う 子どもたちの日常

アジア各国から 6万点以上の作品が集まった

第14期事業(2019~2020年)では、24の国と地域から6万6473作品の応募がありました。2020年10月には各国のグランプリ受賞者が参加する国際表彰式が横浜市で予定されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止に。しかし、横浜でグランプリ受賞者の作品展示会を開催したほか、カザフスタンでも同様の展示会が実施されました。また、各国でグランプリ受賞者や国内受賞者のためのセレモニーが行われました。



カザフスタンでも展示会が実施された

事業概要

アジアの6~12歳を対象とした絵日記コンテストを通じて、青少年の国際相互理解を促進することを目的に、三菱広報委員会、アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)との共催で1990年から始まった。2年かけて募集、選考、交流を行う。



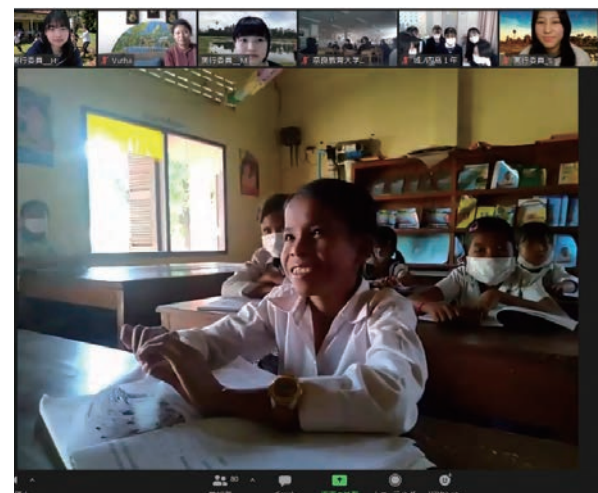
バングラデシュのグランプリ作品
シェイク・サミア・イムラナ・ディヤさん(11歳/受賞当時)
花が咲き、鳥が訪れる美しい自宅の庭の朝の風景を描いている



ラオスのグランプリ作品
ベッタバン・ファンサバンさん(12歳/受賞当時)
国を代表するターム・ルアンという仏塔(寺院)で行われるお祭りのようす



マレーシアのグランプリ作品
ゴン・シェンさん(12歳/受賞当時)
多民族国家であるマレーシアの独立記念日「ムルデカ・デー」を表現した



カンボジアの寺子屋ともオンラインで交流した

カンボジア オンラインスタディツアー

カンボジアの寺子屋と Zoomで交流

2014年に始まり、全国から選抜した高校生をカンボジアに派遣するスタディツアー。2020年度はコロナ禍で中止となりましたが、「現地で得た学びを同世代と共有したい」という高校生たちの思いから、オンラインツアーが実現しました。参加校とカンボジア事務所・寺子屋を中継でつないで授業を見学し、寺子屋関係者や学習者に質問をしたり、日本の学校での取り組みを発表したりと、双方向の交流ができました。参加校からは「現地の人たちや、全国で取り組む人たちの存在を身近に感じた」という声が寄せられました。



オンラインスタディツアー
◀ ダイジェスト版の映像はこちら

事業概要

2019年度「高校生カンボジアスタディツアー」の参加者が企画・立案した日ユ協連初のオンラインツアー。2021年1月30日に「寺子屋リーフレット制作プロジェクト」(本ページ下)参加校の児童生徒約100名を対象として、国際理解を深める機会を提供した。
協賛:公益財団法人かめのり財団



11枚の書き組はがきでひとりが1カ月学校に通うことができます。あなたの力が必要です。どうか力を貸して下さい。

寺子屋リーフレット制作プロジェクト

世界の識字問題を学び 行動につなげる

2020年度最優秀賞「日本ユネスコ協会連盟賞」を受賞した
北鎌倉女子学園高等学校 佐々木優子さんの作品

事業概要

世界寺子屋運動を題材として、2003年度から実施しているESD学習活動。小・中・高等学校の児童生徒が非識字をはじめとした世界的課題を学び、デジタル機器を用いて、書きそんじハガキ回収を呼びかけるリーフレットを制作する。

2020年度は、全国21校、約2300人の児童・生徒が本プログラムに参加しました。とくに優れた作品を選出する「リーフレット・コンテスト」では、コロナ禍にもかかわらず作品が多く寄せられ、通常の最優秀賞、優秀賞に加えて奨励賞も設けました。また、本年度はオンラインを活用し、キックオフ会やカンボジアスタディツアー(上記参照)などを開催したことで、学校の枠を超えた交流が進み、学びの幅が広がりました。



グランプリ受賞者のメッセージ動画、
◀ 第15期(2021-2022)募集要項はこちら

SDGs
主な対応目標



SDGs
主な対応目標



全国に広がる民間ユネスコ運動

戦後間もない1947年、平和の大切さを謳うUNESCO憲章に共鳴した市民らが、日本のUNESCO加盟を目指して、仙台ユネスコ協力会(当時)をはじめとした草の根の組織を全国で立ち上げました。これがユネスコ協会の始まりです。1951年に日本がUNESCO加盟を果たした後も、平和な世界の実現に向けて、270を超えるユネスコ協会・クラブ(2021年6月現在)が、草の根の活動に取り組んでいます。

UNESCOと日本のあゆみ

(青文字は民間ユネスコ運動の動きです)

- 1945年11月16日 UNESCO憲章採択
- 1946年11月4日 UNESCO創設
- 1947年7月19日 仙台ユネスコ協力会(当時)発足
- 1947年11月27日 第1回ユネスコ運動全国大会開催

- 1948年5月1日 日本ユネスコ協力会連盟(当時)結成
- 1951年7月2日 日本のUNESCO加盟
(日本が戦後初めて加盟した国連機関)
- 1951年8月14日 日本ユネスコ協会連盟設立
- 1956年12月18日 日本の国際連合加盟

中部西ブロック(21)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 富山県ユネスコ連絡協議会 | 大垣ユネスコ協会 | 亀山ユネスコ協会 |
| 富山ユネスコ協会 | 各務原ユネスコ協会 | 松阪ユネスコ協会 |
| 富山ユネスコ協会青年部 | 名古屋ユネスコ協会 | ふくいユネスコ協会 |
| 氷見ユネスコ協会 | 豊橋ユネスコ協会 | ユネスコクラブ日本ライン |
| 南砺ユネスコ協会 | 三重県ユネスコ連絡協議会 | 菟野ユネスコ協会 |
| 石川県ユネスコ協会 | 名張ユネスコ協会 | |
| 岐阜県ユネスコ協会 | 津ユネスコ協会 | |
| 高山ユネスコ協会 | 紀北町ユネスコ協会 | |



新型コロナウイルス感染症対策事業

コロナ禍で困窮している留学生などの支援をはじめ、市内の医療施設や学校に感染予防グッズを寄贈するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みを各地のユネスコ協会が行っています。(写真提供:神戸ユネスコ協会)

近畿ブロック(42)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 長浜ユネスコ協会 | 橋本ユネスコ協会 |
| 彦根ユネスコ協会 | 紀南ユネスコ協会 |
| 京都府ユネスコ連絡協議会 | 紀北ユネスコ協会 |
| ユネスコ京都クラブ | 貴志川ユネスコ協会 |
| 舞鶴ユネスコ協会 | 那賀・青洲ユネスコ協会 |
| 福知山ユネスコ協会 | 新宮ユネスコ協会 |
| 京都ユネスコ協会 | 岩出ユネスコ協会 |
| エリーニ・ユネスコ協会 | 伊都・高野山ユネスコ協会 |
| 特定非営利活動法人大阪ユネスコ協会 | 兵庫県ユネスコ連絡協議会 |
| 堺ユネスコ協会 | 芦屋ユネスコ協会 |
| 箕面ユネスコ協会 | 尼崎ユネスコ協会 |
| 大阪府ユネスコ連絡協議会 | 神戸ユネスコ協会 |
| 一般社団法人大阪北河内ユネスコ協会 | 三田ユネスコ協会 |
| 奈良県ユネスコ連絡協議会 | 宝塚ユネスコ協会 |
| 奈良ユネスコ協会 | 西宮ユネスコ協会 |
| 天理ユネスコ協会 | 伊丹ユネスコ協会 |
| 斑鳩ユネスコ協会 | 相生ユネスコ協会 |
| 吉野ユネスコ協会 | 川西ユネスコ協会 |
| 飛鳥・橿原ユネスコ協会 | 丹波篠山ユネスコ協会 |
| 和歌山県ユネスコ連絡協議会 | 姫路ユネスコ協会 |
| 和歌山ユネスコ協会 | 三木市ユネスコ協会 |

平和の鐘を鳴らそう
毎年7月19日の「民間ユネスコ運動の日」を中心に、地域の寺院などで鐘を鳴らすとともに、平和について考えるイベントを実施。2020年度はコロナ禍でオンライン開催も見られました。(写真提供:沖縄県ユネスコ協会)



四国ブロック(12)

- | | |
|--------------|------------|
| 香川県ユネスコ連絡協議会 | 北条ユネスコ協会 |
| 高松ユネスコ協会 | 松山ユネスコ協会 |
| 高松ユネスコクラブ | 今治ユネスコ協会 |
| 丸亀ユネスコ協会 | 新居浜ユネスコ協会 |
| 愛媛県ユネスコ連絡協議会 | 四国中央ユネスコ協会 |
| 大洲ユネスコ協会 | 徳島ユネスコ協会 |

九州ブロック(12)

- | | |
|--------------|-------------|
| 久留米ユネスコ協会 | 鹿児島ユネスコ協会 |
| 大分県ユネスコ協会連盟 | 徳之島ユネスコ協会 |
| おおい草の根ユネスコ協会 | 沖縄県ユネスコ協会 |
| 熊本ユネスコ協会 | 沖縄でいごユネスコ協会 |
| 日南ユネスコ協会 | 佐賀ユネスコ協会 |
| 延岡ユネスコ協会 | |
| 都城ユネスコ協会 | |

中国ブロック(27)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 岡山県ユネスコ連絡協議会 | 山口県ユネスコ連絡協議会 | 防府ユネスコ協会 |
| 津山ユネスコ協会 | 宇部ユネスコ協会 | 鳥取県ユネスコ連絡協議会 |
| 岡山ユネスコ協会 | 下関ユネスコ協会 | 鳥取ユネスコ協会 |
| 倉敷ユネスコ協会 | 下関ユネスコ協会青年部 | 米子ユネスコ協会 |
| 広島県ユネスコ連絡協議会 | 徳山ユネスコ協会 | 倉吉ユネスコ協会 |
| 尾道ユネスコ協会 | 長門ユネスコ協会 | 出雲地区ユネスコ協会 |
| 広島ユネスコ協会 | 萩ユネスコ協会 | 石見地区ユネスコ協会 |
| 宮島ユネスコ協会 | 光ユネスコ協会 | |
| 東広島ユネスコ協会 | 山口ユネスコ協会 | |
| 因島ユネスコ協会 | 岩国ユネスコ協会 | |



私のまちのたからもの絵画展

地域の文化財や自然などをかけがえない身近な「たからもの」として、未来へと引き継ぐ心を育てるために、「わたしの町のたからもの」をテーマとした絵画作品の募集・展示を行っています。(写真提供:遠野ユネスコ協会)

学校との連携

国際理解や平和の大切さを伝える出前授業を実施するほか、世界寺子屋運動のため書きそんじハガキ回収を依頼するなど、ユネスコスクールをはじめ地域の学校と連携した活動を実施しています。(写真提供:一般社団法人新潟市ユネスコ協会)



中部東ブロック(23)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 山梨県ユネスコ連絡協議会 | 静岡県ユネスコ連絡協議会 |
| 甲府ユネスコ協会 | 磐田ユネスコ協会 |
| 山梨市ユネスコ協会 | 清水ユネスコ協会 |
| 富士川町ユネスコ協会 | 浜松ユネスコ協会 |
| 忍野ユネスコ協会 | 静岡ユネスコ協会 |
| 長野県ユネスコ連絡協議会 | 沼津ユネスコ協会 |
| 長野ユネスコ協会 | 伊豆ユネスコクラブ |
| 飯田ユネスコ協会 | 神奈川県ユネスコ連絡協議会 |
| 松本ユネスコ協会 | 厚木ユネスコ協会 |
| 上田ユネスコ協会 | 横浜ユネスコ協会 |
| 特定非営利活動法人木曾ユネスコ協会 | 特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会 |
| 諏訪ユネスコ協会 | |

民間ユネスコ運動のネットワークは世界にも(AFUCAとWFUCA)

アジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟(AFUCA)は1974年に日本が主導的な役割を果たして創設された団体です。「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」(P23参照)を共催するなど、アジア地域での民間ユネスコ運動に重要な役割を果たしています。2020年12月にイランとパキスタンのユネスコ連盟が加盟し、メンバーは16カ国に広がりました。一方、世界ユネスコ協会クラブ・センター連盟(WFUCA)は1981年に設立されました。現在77カ国で4040のユネスコ協会やクラブが活動しています。

北海道ブロック(20)

- | | |
|--------------|-----------|
| 北海道ユネスコ連絡協議会 | 石狩ユネスコ協会 |
| 旭川ユネスコ協会 | 江別ユネスコ協会 |
| 岩内ユネスコ協会 | 名寄ユネスコ協会 |
| 小樽ユネスコ協会 | 苫小牧ユネスコ協会 |
| 帯広ユネスコ協会 | 倶知安ユネスコ協会 |
| 釧路ユネスコ協会 | 恵庭ユネスコ協会 |
| 札幌ユネスコ協会 | 知床ユネスコ協会 |
| 千歳ユネスコ協会 | 稚内ユネスコ協会 |
| 函館ユネスコ協会 | 北広島ユネスコ協会 |
| 室蘭ユネスコ協会 | 江差ユネスコ協会 |

東北ブロック(45)

- | | | |
|-----------------|----------------|-----------------|
| 一般社団法人青森県ユネスコ協会 | 江刺ユネスコ協会 | 富谷ユネスコ協会 |
| 秋田県ユネスコ連絡協議会 | 二戸市ユネスコ協会 | みやぎ北ユネスコ協会 |
| 秋田ユネスコ協会 | 平泉ユネスコ協会 | 酒田ユネスコ協会 |
| 横手ユネスコ協会 | 一関ユネスコ協会 | 福島県ユネスコ連絡協議会 |
| 岩手県ユネスコ連絡協議会 | 遠野ユネスコ協会 | 須賀川地方ユネスコ協会 |
| 釜石ユネスコ協会 | 千厩ユネスコ協会 | 福島ユネスコ協会 |
| 北上ユネスコ協会 | 大船渡ユネスコ協会 | 会津ユネスコ協会 |
| 花巻ユネスコ協会 | 浄法寺ユネスコ協会 | いわきユネスコ協会 |
| 前沢ユネスコ協会 | 衣川ユネスコ協会 | 白河ユネスコ協会 |
| 水沢ユネスコ協会 | 滝沢ユネスコ協会 | 郡山ユネスコ協会 |
| 盛岡ユネスコ協会 | 一戸ユネスコ協会 | 郡山次世代ユネスコ協会 |
| 陸前高田ユネスコ協会 | 宮城県ユネスコ連絡協議会 | 一般社団法人新潟市ユネスコ協会 |
| 久慈ユネスコ協会 | 気仙沼ユネスコ協会 | 佐渡ユネスコ協会 |
| 東山ユネスコ協会 | 白石ユネスコ協会 | |
| 川崎ユネスコ協会 | 公益社団法人仙台ユネスコ協会 | |
| 宮古ユネスコ協会 | 塩釜ユネスコ協会 | |

関東ブロック(72)

- | | | |
|-------------------|----------------------|-------------------------|
| 栃木県ユネスコ連絡協議会 | 秩父ユネスコ協会 | 港ユネスコ協会 |
| 足利ユネスコ協会 | 茨城県ユネスコ連絡協議会 | 渋谷ユネスコ協会 |
| 佐野ユネスコ協会 | 土浦ユネスコ協会 | 大田ユネスコ協会 |
| 開倫ユネスコ協会 | ひたちなかユネスコ協会 | ユネスコ・アルムニ・クラブ |
| 日光ユネスコ協会 | 北茨城ユネスコ協会 | 杉並ユネスコ協会 |
| 群馬県ユネスコ連絡協議会 | 水戸ユネスコ協会 | 特活としまユネスコ協会 |
| 太田ユネスコ協会 | 茨城県西地方ユネスコ協会 | 千代田ユネスコ協会 |
| 桐生ユネスコ協会 | 千葉県ユネスコ連絡協議会 | スプリングユネスコクラブ |
| 沼田ユネスコ協会 | 柏ユネスコ協会 | 武蔵野ユネスコ協会 |
| 前橋ユネスコ協会 | 木更津ユネスコ協会 | 玉川大学ユネスコクラブ |
| 大泉ユネスコ協会 | 千葉ユネスコ協会 | 全国的青年連絡組織 |
| 安中碓氷ユネスコ協会 | 成田ユネスコ協会 | 特定非営利活動法人平和の文化東京ユネスコクラブ |
| 伊勢崎ユネスコ協会 | 富里ユネスコ協会 | 特定非営利活動法人権新藤ユネスコクラブ |
| 高崎ユネスコ協会 | 認定特定非営利活動法人市川市ユネスコ協会 | 学び舎江戸東京ユネスコクラブ |
| 富岡ユネスコ協会 | 浦安市ユネスコ協会 | 一般社団法人新宿ユネスコ協会 |
| 藤岡地方ユネスコ協会 | 四街道市ユネスコ協会 | 舞音の守ユネスコクラブ |
| 中之条ユネスコ協会 | 船橋ユネスコ協会 | スポーツと平和を考えるユネスコクラブ |
| 館林ユネスコ協会 | 八街ユネスコ協会 | ミンガラバー・ユネスコクラブ |
| 長野地方ユネスコ協会 | 香取・佐原ユネスコ協会 | 浅草ユネスコ協会 |
| 伊豆ユネスコクラブ | 東京都ユネスコ連絡協議会 | ICUユネスコクラブ |
| 神奈川県ユネスコ連絡協議会 | 深谷地方ユネスコ協会 | 立川ユネスコ協会 |
| 厚木ユネスコ協会 | 越谷ユネスコ協会 | 立教セカンドステージ大学ユネスコクラブ |
| 横浜ユネスコ協会 | 埼玉県ユネスコ連絡協議会 | |
| 特定非営利活動法人鎌倉ユネスコ協会 | 草加ユネスコ協会 | |
| | 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 | |

SDGs17の
ゴールすべてが
対応目標です



地域に貢献するユネスコ協会の活動

270を超える全国のユネスコ協会・クラブは、地域からさまざまな活動を発信しています。新たな視点での企画、学校やNPOとの協働など、社会課題を解決するための3つの活動を紹介します。



集まった大量のカレンダーを仕分けするスタッフたち

不要なカレンダーの有効活用で 地域に根付いた社会貢献

札幌ユネスコ協会(北海道)

企業や家庭などで不要になったカレンダーを集めて販売するカレンダーリサイクル市を、2008年より毎年開催※しています。2020年1月の開催時は約7000人が来場。不用品の有効活用という環境保護によって、気軽にできる社会貢献として地域に根付いています。収益は世界寺子屋運動でカンボジアに井戸を設置するなど活用されています。

※2020年度はコロナ禍のためカレンダー市は開催せず、クラウドファンディングを実施。



東三河ESDユネスコスクールフォーラムで発表する生徒たち

平和学習とESD 地域、学校と連携して推進

豊橋ユネスコ協会(愛知県)

「軍都」として発展した歴史を持つ豊橋ならではの平和教育を推進。市内の小中学校を対象に、戦争遺跡案内、戦争体験談などの出前授業を行っています。また、学校のESD(持続可能な発展のための教育)推進にも協力し、ESD関連のフォーラムや展示会を通じて、地域や学校との連携を強化しています。



ツアーに参加した高校生とともに総合的な学習を实践

幅広いネットワークで 持続可能な社会の担い手を育む

箕面ユネスコ協会(大阪府)

府内を中心とした中・高・大学生やNPOなどとともに、被災地や発展途上国へのボランティアツアーを企画し、青少年の社会参加を促す活動を展開。そこで培われたネットワークを生かして、総合的な学習で学校とも協働。防災や世界の識字問題について考え行動する教育を応援し、持続可能な社会の担い手を育てています。

公式YouTubeチャンネルを ご覧ください

公式YouTube
チャンネルは
こちら▶



公式YouTubeチャンネルでは「SDGsの達成に貢献する民間ユネスコ運動」というテーマで動画を配信しています。カンボジアやミャンマーでの新型コロナウイルス感染症予防支援や、コロナ禍での各地ユネスコ協会の活動などを紹介しています。また、日本ユネスコ国内委員会の活動や、世界寺子屋運動をより深く知っていただく動画、書きそんじハガキ回収PR動画も配信しています。



SDGs17のゴールすべてが
対応目標です



維持会員・賛助団体会員 (2021年7月現在 五十音順 敬称略)

● 維持会員(145)

株式会社IHI / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 / 旭化成株式会社 / 朝日生命保険相互会社 / 朝日不動産管理株式会社 / 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社 / 株式会社ADEKA / 株式会社アドバンテスト / 株式会社アルファ / 株式会社ECC / 株式会社インフォテック / 朝日 / 株式会社ウィザース / ANAホールディングス株式会社 / NPO法人エスピーシーネットワーク / NHSインシュアランスグループ株式会社 / エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 / エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 / 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ / 株式会社NTTドコモ / エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社 / NTTファイナンス株式会社 / 株式会社NTTファシリティーズ / 株式会社F.L.P. / 株式会社オーシーエス / 株式会社大塚商会 城西営業部 渋谷支店 / 株式会社岡三証券グループ / 沖縄ツーリスト株式会社 / 株式会社オリエントコーポレーション / 特定非営利活動法人音楽は平和を運ぶ / 株式会社オンワードホールディングス / 花王株式会社 / 株式会社カスタムライフ / 関東電化工業株式会社 / 株式会社かんぽ生命保険 / 北日本ビル管理株式会社 / 株式会社紀伊國屋書店 / キヤノン株式会社 / 共同印刷株式会社 / 株式会社協和エクシオ / 協和キリン株式会社 / 株式会社クオリアート / 株式会社クラウン・クリエイティブ / 株式会社クラウン・パッケージ / 株式会社クレスコ / 株式会社クレディセゾン / 黒田精工株式会社 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社講談社 / 株式会社幸美グラフィック / 国際セーフティ株式会社 / サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 / 三幸株式会社 / 株式会社シーシー / JTBグループ労働組合連合会 / ジェットスター・ジャパン株式会社 / 株式会社四国銀行 / 株式会社資生堂 / 清水建設株式会社 / 株式会社ショウエイ / 学校法人尚志学園 / 株式会社白橋 / 新光電気工業株式会社 / 株式会社新生銀行 / 新菱冷熱工業株式会社 / 西武信用金庫 / 清和総合建物株式会社 / 株式会社セーフティ / 株式会社セブン&アイ・ホールディングス / 全国税理士共栄会 / 税理士法人添石総合会計事務所 / 株式会社タイキ / 大和証券株式会社 / 中央日本土地建物株式会社 / 中部日本放送株式会社 / 株式会社千代田組 / DIC株式会社 / 株式会社TBSホールディングス / 帝人株式会社 / 株式会社ディック / 株式会社デイリースポーツ案内広告社 / 株式会社電通 / 株式会社電通テック / 東急建設株式会社 / 東急不動産ホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社 / 東京書籍株式会社 / 株式会社東京ドーム / 東武鉄道株式会社 / 東洋埠頭株式会社 / 株式会社東横イン / トップラン・フォームズ株式会社 / なないろ生命保険株式会社 / 西日本電信電話株式会社 / 株式会社日税ビジネスサービス / ニチモウ株式会社 / 日通商事株式会社 / 日本化薬株式会社 / 日本軽金属株式会社 / 日本ゼオン株式会社 / 日本通運株式会社 / 日本電信電話株式会社 / 日本ビストンリング株式会社 / 日本放送協会 / 日本空港ビルデング株式会社 / 日本農薬株式会社 / 日本メディカルシステム株式会社 / 野村ホールディングス株式会社 / 株式会社パウコムコミュニケーションズ / パナソニック株式会社 / 株式会社PFU / 東日本電信電話株式会社 / 東日本旅客鉄道株式会社 / 株式会社日立製作所 / 株式会社ビデオプロモーション / 日比谷総合設備株式会社 / 株式会社フェドラ / 富士オフィス&ライフサービス株式会社 / 富士急行株式会社 / 富士通株式会社 / 株式会社富士通エフサス / 株式会社富士通ゼネラル / 株式会社フジテレビジョン / 古河機械金属株式会社 / 古河電気工業株式会社 / 株式会社ブロードリンク / 株式会社プロジェクトパーク / マイスター会計事務所 / 三井住友カード株式会社 / ミツイワ株式会社 / 三菱地所株式会社 / 三菱重工業株式会社 / 三菱商事株式会社 / 株式会社ミライト / 株式会社ミロク情報サービス / 株式会社ムクダ / メッドサポートシステムズ株式会社 / モリリン株式会社 / 株式会社ヤクルト本社 / 山崎製パン株式会社 / 横浜ゴム株式会社 / レイ法律事務所 / 株式会社レインボウ・ジャパン / 匿名3社

● 賛助団体会員(17)

ICOM日本委員会 / OMEP日本委員会 / NPO法人関西国際交流団体協議会 / 一般社団法人国立大学協会 / 特定非営利活動法人としまNPO推進協議会 / 一般財団法人日本エスペラント協会 / 公益社団法人日本空手協会 / 協同組合日本脚本家連盟 / 一般社団法人日本国際児童図書評議会 / NPO法人日本国際文化遺産協会 / 公益社団法人日本造園学会 / 公益社団法人日本図書館協会 / 一般社団法人日本の節句文化を継承する会 / 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 / 一般社団法人日本美術家連盟 / 公益財団法人野村生涯教育センター / WARD世界子孫代理人会

サポーターの声

UNESCOの趣旨に賛同し、何年にも渡って民間ユネスコ運動を支えてくださっている方々のメッセージをご紹介します。



ユネスコ世界寺子屋運動
広報特使
久保 純子さん

パンデミックにさらされた不安いっばいの1年が過ぎ、世界は少しずつニューノーマルで動き始めています。しかしながら、新型コロナウイルスが残した爪痕は大きく、各国は深刻な経済危機に直面しています。長期に渡って学校が休校となってしまった地域では、経済的な理由から学校をやめざるを得ない子どもたちが出てくる可能性があります。すると、ますます寺子屋が求められることになります。日本ユネスコ協会連盟は、「今」の状況に対応できるようにあらゆる対策を講じています。子どもや女性たちが学び続けることができるように。これからも応援していきます。



ヴァイオリニスト
UNESCO平和芸術家
二村 英仁さん

昨年度は、パンデミックによって学校に通えなくなった世界の生徒さんたちのために、UNESCOが使命とするテーマと音楽を組み合わせた動画を作成し、パリ本部から発信してもらうことが主体となりました。またアズレUNESCO事務局長とともに出席した世界津波啓発デーにおけるUNDRR(国連防災機関)の会議では、災害に強い世界を築くための人びとの意識向上に音楽の活用を図りました。さまざまな制約が立ちはだかる現況ですが、コロナ禍にあっても多様な事業を切り拓かれている日本ユネスコ協会連盟さんと連携できる活動を目指してまいります。

企業・団体との連携

2020年度も多くの企業・団体にご協力いただきました。

日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章に基づき、志を同じくする人びとや企業・団体と連携して国内外で活動を続けています。



寄付方法のご案内

日本ユネスコ協会連盟の活動は、皆さまからのご寄付で運営しています。

<h3>月1いいことプログラム (継続支援)</h3> <p>口座振替またはクレジットカードにより、毎月決まった金額を寄付いただくプログラムです。金額はご自身で設定いただけます。</p>	<h3>1回毎の寄付</h3> <p>郵便振替、銀行振込、クレジットカードにより、ご自身のタイミングで寄付いただく方法です。巻末の郵便振替用紙をご活用ください。</p>	<h3>遺贈</h3> <p>遺言によりご自身の財産を贈与(寄付)いただく方法です。ご希望の方には、手続き方法などを掲載したパンフレットをお送りいたします。</p>
<h3>ポイントによる寄付</h3> <p>クレジットカードや各種ポイントサービスのポイントを寄付いただく方法です。 Ok! Doki ポイント (JCBカード)、わくわくポイント/ワンダフルプレゼント21 (OMCカード、セディナカードクラシック等)、Vポイントおよびワールドプレゼントのポイント (VJAグループ)、三菱UFJニコスポイントプログラム (MUFGカード、DCカード、NICOSカード)、JRE POINT (JR東日本)、JRホテルメンバーズポイント、Tポイント (Tポイント・ジャパン)、dポイント (NTTドコモ)、プラメド、ブルーチップ、ベネフィット・ステーション (ベネフィット・ワン) など</p>	<h3>その他</h3> <p>日頃お使いのアプリやサイトなどからも寄付いただけます。 【Yahoo!ネット募金】 クレジットカードやTポイントで寄付 【メルカリ寄付】 メルカリアプリからメルペイ残高で寄付 (メルカリをご利用の方) 【つながる募金】 携帯料金とまとめたの寄付やクレジットカードで寄付 (ソフトバンクをご利用の方)</p>	

詳しくはホームページをご覧ください ▶ <https://www.unesco.or.jp/join/>



会計報告

2020年度 正味財産増減計算書 (要約版)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

科目	金額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
① 経常収益	
基本財産運用益	1,470
特定資産運用益	3,405
受取会費	45,869
事業収益	8,043
受取補助金等	800
受取寄付金	493,524
雑収益	759
経常収益計	553,869
② 経常費用	0
事業費	541,974
管理費	41,333
経常費用計	583,307
評価損益等調整前当期経常増減額	△29,438
特定資産評価損益等	2,082
当期経常増減額	△27,356
2. 経常外増減の部	0
① 経常外収益	0
経常外収益計	0
② 経常外費用	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△27,356
一般正味財産期首残高	810,556
一般正味財産期末残高	783,200
II 指定正味財産増減の部	
受取寄付金	259,780
特定資産評価益	49
特定資産評価損	0
一般正味財産への振替額	△433,976
当期指定正味財産増減額	△174,147
指定正味財産期首残高	1,628,498
指定正味財産期末残高	1,454,351
III 正味財産期末残高	2,237,551

注：記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

監事による監査に加え、監査法人エムエムピージー・エーマック並びに要石公認会計士事務所より監査を受けております。

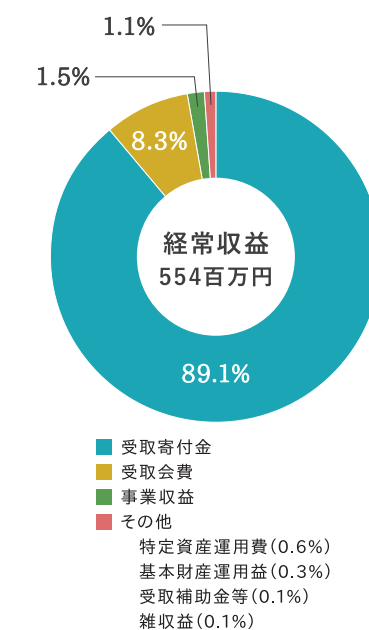
計算書類等、詳しくは当連盟のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。

<https://unesco.or.jp/document>

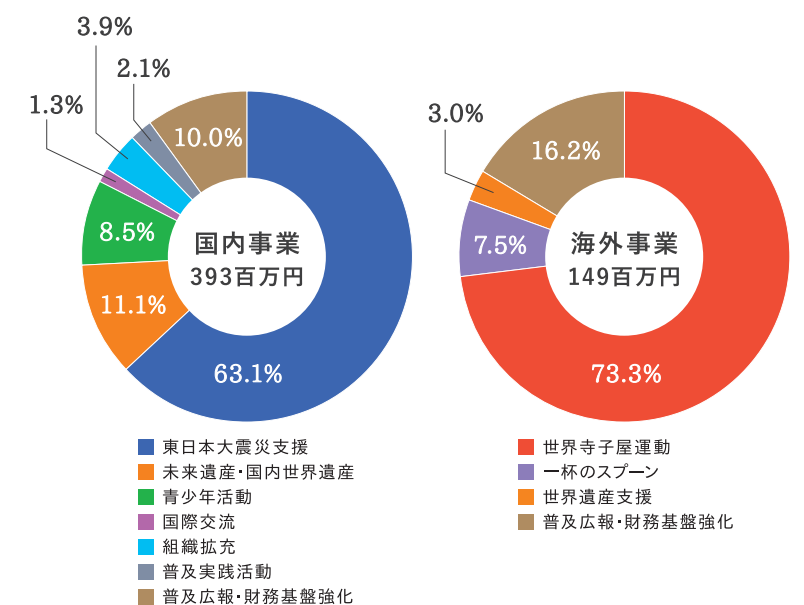


詳しくはこちら

2020年度 経常収益の内訳



2020年度 経常費用のうち事業費の内訳



2020.4.1- 2021.3.31 ANNUAL REPORT

2020年度 活動レポート



公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階
TEL. 03-5424-1121 Email. nfuj_web@unesco.or.jp <https://www.unesco.or.jp>

